

本願力

横浜別院だより



「開かれたお寺作り事業、今を大切に生きる」

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

横浜市港南区日野一丁目十一番

(045) 841-3434

FAXTEL (045) 841-3428
<http://www.yokohama-ootani.com>

「業」

輪番 森田 成美

親鸞聖人のつねのおおせに「されば、そくばくの業をもちける身にてありけるを、たすけんとおぼしめしたちける本願のかたじけなきよ」（『歎異抄』）というお言葉があります。親鸞仏教センターの『現代語歎異抄』には「はかり知れない罪業をもつたこの身であるのに、たすけようと思ひ立つてくださった本願の、なんともつたいないことか」と訳してあります。仏から凡夫よと呼びかけられている私は、蚕が自ら出する糸によって繭を作り、身を縛ってしまいうように、自らの業によって苦を作り出し迷いの道を経巡っているのです。そのはかりしれない罪業の中に、勝他・利養・名聞というものがあります。

ご法話等でお聞き及びの事かと思ひますが、勝他・利養・名聞とは『口伝鈔』というお聖教の中に出てまいります。それは法然上人の下で修学を重ねていた聖光坊という方が、「本国恋慕のころざしあるによりて、鎮西下向つかまつるべし。いとまたまわるべし」とここ数年修学を重ねてきたので、そろそろ故郷に帰りたいた法然上人に挨拶に来られた。その聖光坊に「あた

ら修学者が、もどりをきらでゆくとはよ」と声を掛けられた。もどりとは束ねた髪の毛のことですから、剃髪して出家得度して久しい聖光坊は何のことかと不審に思ひ、上人の下へ引き返してその訳を問い返します。それに対し法然上人は、「法師には、みつのもどりあり。いわゆる勝他・利養・名聞、これなり。この三箇年のあいだ源空がのぶるところの法文をしるしあつめて隨身す。本国にくだりて人をしえたげんとす。これ勝他にあらずや。それにつきて、よき学生といわれんとおもう。これ名聞をねがうところなり。これによりて壇越をのぞむこと、所詮、利養のためなり。このみつのもどりをそりすてずは、法師といひがたし」と応えられたのです。つまり法然上人から聞いた教えを持ち帰って田舎の人々を屈服させ、さすが都で修学を重ねられただけのことはあると人望をあつめ、それによって強力なスポンサーを得よう等という思いをしているから、もどりをきらでゆくとはいよと言ったのであるという厳しいお言葉でした。私には耳の痛い話です。正に袈裟、衣を着けて生業を営む私のそくばくの業であります。しかし、勝他・利養・名聞は世間にあふれています。例えば、「何故勉強しなければならぬのか」という子供の質問に、「いい学校行って、いい会社に入つて、いい給料を貰つて、いい暮らしをするためだ」等と応えていませんか。それでいいのかと問い返して下さる本願のかたじけなきよと親鸞聖人は教えて下さっているのではないのでしょうか。

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 — 2022年6月～8月

～どなたもご自由にお参りください～

盂蘭盆会法要 午後1時30分より

7月15日(金)・16日(土)

【法話】柳衛悠平 師

(岡崎教区成真寺衆徒・仏教伝道協会職員)

皆様とご一緒に、お盆を仏法聴聞の機縁として、亡き人々からの尊い呼びかけに応じていきたいと存じます。どうぞご参詣ください。

定例法話 午後1時30分より

6月9日(木)三浦組 勸明寺 藤尾明信 師

6月28日(火)別院 輪 番 森田成美

7月9日(土)東京4組 長嚴寺 本多正弘 師

7月28日(木)別院 列 座 家本久和

8月9日(火)茨城1組 東弘寺 豊田信人 師

8月28日(日)別院 列 座 佐竹大樹

※法話終了後の「座談会」は休止中です。

※「正信偈の会」は休止中です。

横浜別院同朋の会・おみがき会

6月18日(土) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

※古くなったタオルをお持ちください。

【宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要東京教区お待ち受け大会】

- 東京教区500カ寺からつながる -

オンラインお待ち受け大会

〈ライブ配信上映について〉

6月13日(月) 13時30分～

〔上映会場〕：横浜別院・研修室

〔講 師〕：池田勇諦 師

(同朋大学名誉教授)

※参加費・事前申し込み不要です。

お誘い合わせの上、ご参加下さい!

《別院声明儀式研修会のご案内》

【日時】 6月7日(火) 14時～16時

【講師】 友松雅英 師(東京2組西岸寺住職)

【講題】 「装束作法と衣体構成について」

【参加費】 1,000円 ※事前申し込み制

《暁天講座のご案内》

【日時】 8月20日(土)・21日(日)

午前6時30分～8時15分

【会場】 本願寺横浜別院 (zoom併用)

【講師】 <20日> 橋本正博 師

(横浜組智廣寺前住職)

【講題】 「お経をいただく」

.....

【講師】 <21日> 長谷川琢哉 師

(東洋大学・井上円了哲学センター研究助手)

【講題】 「井上円了の親鸞」

【参加費】 無料 ※事前申し込み不要です。

■両日、パンと豆乳をお配りします。

尚、暁天講座は、zoomで参加いただけますので、zoom参加の場合は別院までメールでご連絡ください。

《zoom申し込みは下記まで!》

メール (yokobetsu@silk.ocn.ne.jp)

急遽、内容変更の場合があります。ご了承下さい

グリーンケアのつどいのご案内

【日時】 6月18日(土) 午後2時～

8月6日(土) 午後2時～

10月1日(土) 午後2時～

突然起きてくる人間の悲しみに共感を求めてグリーンケアを行なっています。

※参加費・申し込みは不要です。

詳細はチラシをご覧ください。

編集後記

神奈川教化センター企画広報部は、今年三月に二年ぶりの事業として「開かれたお寺作り事業」を今を大切に生きる」を開催しました。その様子は表紙一面の写真ですが、感染予防対策を実施の上で、久しぶりに大勢の方に集まっていただけでした。開かれたお寺ということ、まずはお寺に足を運んでいただくことを願いとして次のような企画を行ないました。室内プラネタリウムを使ってお星さまのお話(杉中慎氏)、身体を整える「オメガⅢ油」のお話(青木絵麻氏)、ミニ法話(伊藤大信企画広報スタッフ)、発酵玄米健康弁当のお土産等、何かしらの興味を持つていただける内容だったこともあり、たくさんの方の反響をいただくことができました。

ウィズコロナの中であっても、次に繋がるような事業展開を続けていきたいと思えます。(家本)